

石鎚山系縦走～山は晴れに限る。～

【報告者】K出

【日時】2018年9月26日～28日

《コースタイム》

■9月26日 0500 松山観光港→松山駅→いよ西条駅→下津池バス停 0850→1110 笹ヶ峰登山口→1300 丸山荘→1400 ちち山→1440 笹ヶ峰→1520 丸山荘避難小屋泊

■9月27日 0640 丸山荘→0850 寒風山→0940 桑瀬峠→1045 伊予富士→1137 東黒森→1224 自念子ノ頭→1350 西黒森→1510 瓶ヶ森→1530 瓶ヶ森避難小屋泊

■9月28日 0550 瓶ヶ森避難小屋→0640 子持権現山→0735 シラサ峠→0810 伊吹山→1000 土小屋→1140 二の鎖元小屋→1150 弥山山頂（休憩）→1230 天狗岳→1330 夜明峠→1446 ロープウェイ成就駅

《 報 告 》

故郷の山、石鎚山。何度かピストンで登ったことはありますが、石鎚山系を長く繋いで歩いてみたいなあとかねてから思っていました。年に1度の夏季休暇にあわせて、帰省を兼ねて単独行で臨みました。

■9月25日（0日目）槍ヶ岳山行から帰った翌日。まだ左ふくらはぎはパンパンに張っている。ぼーっとしながら洗濯、パッキング。夕方には小倉に出発し、栄養補給後小倉松山フェリーへ。二等寝台（女性専用）はほぼ貸切り状態で、ぐっすり休めた。

■9月26日（1日目）バス、電車、バスを乗り継ぎ下津池バス停に到着。公衆トイレで用を済ませ、約2時間半の林道歩き。長かったー。軽乗用車1台に追い抜かれる以外は全く人気なし（この方とは後程紅葉谷分岐で出会った）。笹ヶ峰登山口からは淡々とした登り道。道はわかりやすい。13時に丸山荘に到着した。ここは事前に連絡したら宿泊できる有人小屋なのだが、到着時点で鍵がかかっており明らかに人気がない…。嫌な予感がして電話連絡すると、私の予約を忘れられていた。ひ…ひどい！避難小屋の鍵は開いていたのでそこに泊まることに。時間はあるのでせっかくだからちち山～笹ヶ峰に登ってみたが途中から雨が降り始め、ガスも出てきて全く眺望なし。笹が生い茂り、足元も見えずだんだんと悲しい気持ちになる。避難小屋に戻り、ネットで天気予報をチェック。瓶ヶ森方面は明日以降は晴れるという予報ではあったがモチベーションが全く上がらず明日の下山も検討した。すべては明朝に決めようということで、20時就寝。



■9月27日（2日目）4時半起床。何はともあれ朝ご飯を食べる。餅入りうどん。まだ外は雨が降っている。再度天気予報を確認したが、やはり午後以降晴れの予報。徐々に雨も上がり始めたため、気を取り直して縦走を続行することとした。しかし、29日以降は台風24号の影響で雨予報となっており、もともと29日までかけて堂ヶ森まで足を延ばす予定であったが今回は諦めることとし、28日に石鎚山登頂後下山する方針に変更した。実家に予定変更の連絡を入れ、6時40分に出発。

しかしその後も雨こそ降らないものの全くガスが晴れず、視界はおおよそ20m程度。登る山の形もみえず、晴れていたらさぞ気持ちがいいであろうと思われる稜線歩きも全く視界は開けなかった。また、笹露が多く、靴の中までびしょぬれに（私の靴のゴアテックスは完全に死んでいた）。幸い比較的暖かい日だったので低体温症等の心配はなかったが、沢靴状態で大変不快であった。こんな天気の中でもハイ

キングやドライブする人たちは少数ながらもおり、ときどき人とすれ違った（合わせて 9 人）。眺望に関しては早々に諦め、ピークハントに努めた。2 日目はもともとシラサ避難小屋に泊まる予定であったが、予定より出発時間を遅らせており、足元が悪くこれ以上急げないことから予定を変更し、今年新しくできたという瓶ヶ森避難小屋に泊まることにした。この日は丸山荘の避難小屋を出発後、寒風山～瓶ヶ森までガスが濃く眺望悪し、特にそれ以外の感想はない。瓶ヶ森山頂を過ぎたあたりから少しガスが薄れ始め、瓶ヶ森避難小屋に着くころには少し明るくなった。瓶ヶ森避難小屋は YAMAP や山と高原地図にもまだ載っていないが瓶ヶ森ヒュッテ跡に新築されており、ネットで見た可愛らしい内装に少し期待をしていたのだが、実際に予想以上に清潔で明るい小屋であった。先客は地元の女性 2 人。大変道に詳しく、いろいろと教えていただいた。夕食（カレー）を食べ、つまみを分けてもらいながらお酒を飲み、今回の山行で初めて楽しいひとときを過ごすことができた。20 時就寝。



■ 9 月 28 日（3 日目）4 時半起床。外に出ると星が綺麗に見えた。今日こ

そは晴れる…！期待に胸を膨らませながら 5 時 50 分に出発した。日が昇るにつれ赤く染まる山々を眺めながら、幸せな気持ちで歩く。が、林道から子持権現山の登山口に気付かずしばしまごつく。さらに



子持権現山の登山道の分岐を見逃し、鎖場を登ってしまう（さすがに途中で気づき、引き返した）。もたついたものの天候がよく気分は上々。順調に歩を進める。よさこい峠を過ぎた後林道から登山道に入るが、この 3 日間でこの笹藪が一番すごかった。何度もルートをロストし、笹漕ぎ三昧。30 分以上笹漕ぎが続いたところで心が折れ、林道に（無理矢理）降りた。10 時頃土小屋に到着。2 日ぶりの人里！自動販売機！！（歓喜）。ポカリスエット（200 円）を購入し、意気揚々と土小屋コースで石鎚山登山を開始した。今回初めて土小屋コースを歩いたが、比較的なだらかで、ずっと石鎚山頂を眺めながら歩くのはとても気持ちが良かった。二の鎖元小屋から弥山山頂まではかなりきつかった

が、何度も通った道であり、一気に登頂。山頂では平日にも関わらず多くの登山者が休憩していた。天狗岳への稜線は相変わらず恰好いい。木々は色づき始め、秋の訪れを感じた。昼食をとりながら存分に眺望を楽しんだのち、ザックを置いて天狗岳までピストン。前回 6 月に訪れた時はまだ左上腕骨骨折が完全に治癒しておらず、岩稜歩きに苦戦したが、今回は問題なく歩けた。その後は夜明峠、成就を経てロープウェイで下山した。



今回は初日、2 日目と全く天候に恵まれず、精神的にかなり辛い山行でした。3 日目に晴れて報われましたが…。今後は天気の良い時にリベンジを果たしたいと思います。